

Innovation
Promotion Center

Asia Business
Promotion Center

Small and Medium
Enterprises
Support Center



TONIO
Toyama
New Industry
Organization

公益財団法人富山県新世紀産業機構は、創業・ベンチャー、経営革新、技術開発、販路・流通拡大等、企業経営や事業展開のなかで直面するさまざまな課題に対して、効果的な解決を図るためにワンストップで支援する総合支援機関です。

富山県や産業支援機関等と連携・協働を図りながら、新産業の育成・創出、企業経営の革新、アジア経済交流の推進等、活力ある地域経済の形成と富山県産業の躍進のために事業を展開してまいります。

3センターによる
実施体制
CONTENTS

P.3 1. 起業家・ベンチャー企業等の支援

- 創業等への支援
 - スモールビジネス・コミュニティビジネスでの創業チャレンジ支援
 - UIJターナーに対する創業チャレンジ支援
- 元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド

P.3 2. 経営の革新・活性化支援

- 窓口相談の実施
- 専門家の派遣
- よろず支援拠点の設置

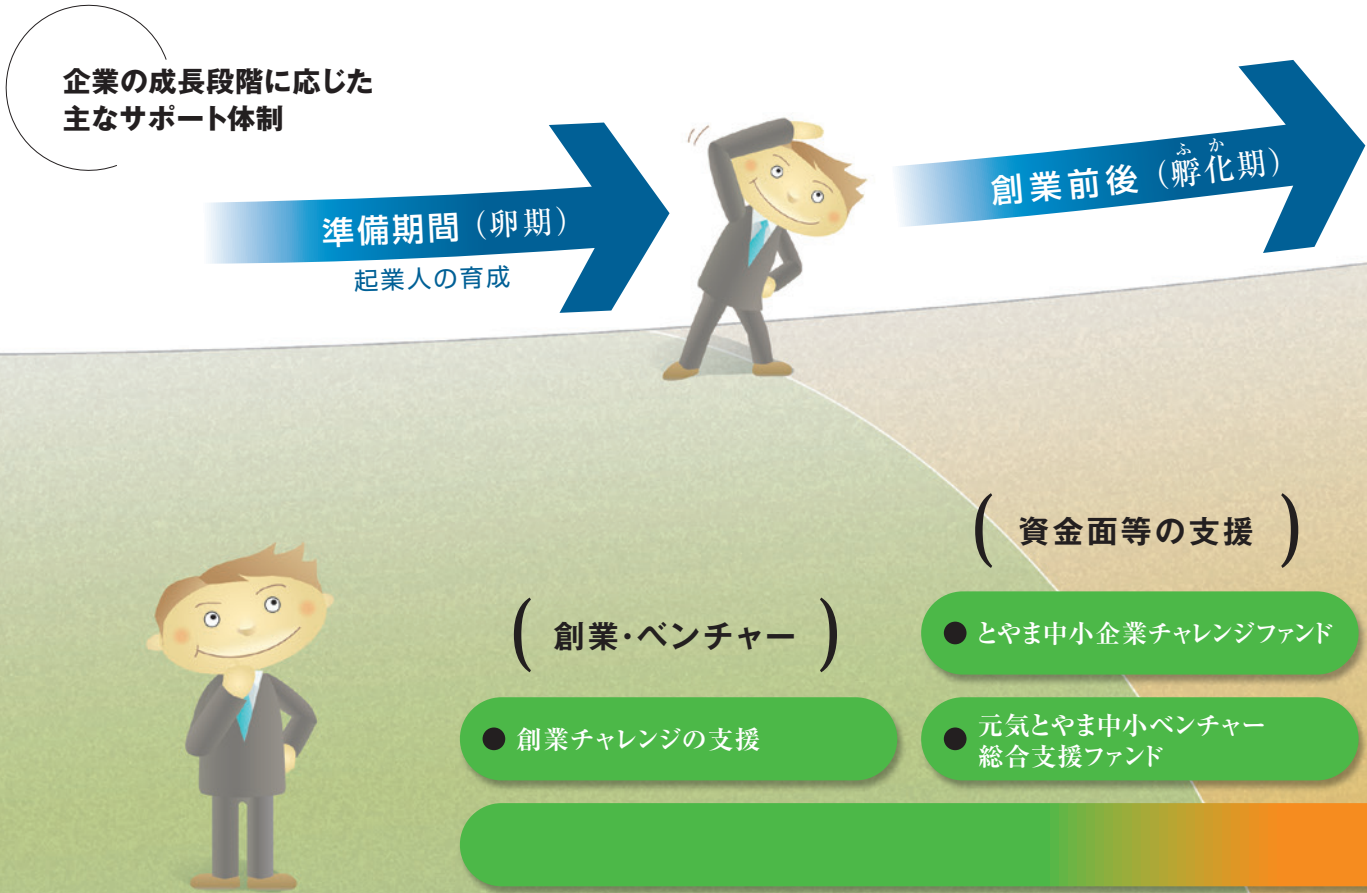
P.4

- 下請かけこみ寺の各種相談
- 中小企業の収益力改善、事業再生支援
- 事業承継・引継ぎ支援
- 中小企業等の外国出願助成
- 観光ビジネス支援
- 小さな元気企業の応援

P.5

- 地域資源を活用した事業支援
- 農商工連携を活用した事業支援
- 防災・減災、感染症対策促進支援

とやまの企業の元気づくりを ワンストップで支援します。





- P.5 **3. 販路の開拓支援**
- 受発注取引のあっせん・紹介
 - 商談会の実施
 - 販路開拓の挑戦支援
 - 大都市圏への販路開拓支援
- P.5 **4. 情報化の支援**
- アフター・ウィズコロナにおけるネットビジネス支援
 - 図書・DVD等による情報提供

- P.6 **5. 産学官連携の推進**
- グリーン成長戦略分野の取組み
 - ロボット技術研究ネットワークの推進
 - 医薬工連携イノベーション創出の推進
 - アルミ産業成長力強化戦略の推進
 - ヘルスケア産業育成創出の推進
 - IoT・AI活用等生産性向上支援

- P.7 **6. 新産業・新技術の創出支援**
- 産学官オープンイノベーションの推進
 - ものづくり研究開発支援
 - 成長型中小企業等研究開発支援



P.8 **7. 富山県ものづくり研究開発センター**

- P.9 **8. アジア経済交流の推進**
- アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等
 - 各種セミナー・中国研究会の開催

- P.9 **9. 海外展開相談窓口の設置**
- アドバイザーの配置

- P.10 **10. 海外市場開拓の支援**
- 国際見本市への出展支援
 - 海外バイヤー招へい商談会の開催
 - 経済交流ミッションの派遣

- P.10 **11. 富山県ものづくり総合見本市の開催**



（ 研究開発の支援 ）

● 産学官連携の推進

● 新産業・新技術の創出支援
(県・国による研究開発支援事業)

● 富山県ものづくり研究開発センター
利用による高度産学官共同研究支援

● 窓口相談の実施

● アジア経済交流の推進

● 海外展開相談窓口の設置

● 海外市場開拓の支援

● 富山県ものづくり総合見本市

● 大都市圏への販路開拓支援

● 広域商談会の開催

● アフター・ウィズコロナにおける
ネットビジネス支援

● 地域資源活用等による
新商品・新サービス開発支援

● 新商品・新事業創出支援



中小企業支援センター

創業・ベンチャーへの挑戦を応援し企業の経営革新を支援

1. 起業家・ベンチャー企業等の支援

□ 創業等への支援

● スモールビジネス・コミュニティビジネスでの創業チャレンジ支援

創業予定者からビジネスプランを募集し、新規性・独自性のある計画または地域の活性化に貢献する計画に対して、創業時の初期経費の一部を助成します。

助成率	1/2
助成限度額	100万円

● UIターン者に対する創業チャレンジ支援

富山県外から移住し、社会的事業に取り組む計画に対して、創業時の初期経費の一部を助成します。

助成率	1/2
助成限度額	200万円

□ 元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド

株式や社債の引き受けによる長期低利の資金提供やコミュニティビジネスの融資に対する債務保証を行います。

① 間接投資 ベンチャーキャピタルによる投資 (株取得・社債引受) 限度額5,000万円 償還10年以上内	③ 社債債務保証 間接投資債務保証 保証料/年0.5% 保証割合/社債引受元本の70%
② 直接投資 間接投資を受けた中小企業に対して 直接投資(社債引受) 限度額1,000万円 償還10年以上内	④ 融資債務保証 保証料/年0.8% 保証割合/融資額の70%

2. 経営の革新・活性化支援

□ 窓口相談の実施

中小企業の経営や技術革新、新製品開発や販路拡大などさまざまな相談に対して、豊富な知識と経験を持つ専属スタッフが対応します。

□ 専門家の派遣

高度で専門的な課題に対しては、経営、技術、情報化など多様な分野の専門家を派遣し、確かな診断と助言を行います。

◎派遣費用/1回あたり3万円(事業主1/3負担)

□ よろず支援拠点の設置

「富山県よろず支援拠点」では、各分野の専門家であるコーディネーターが、事業者の相談に応じ、経営課題を分析、課題解決に向けた総合的・先進的経営アドバイスを行うほか、各支援機関との連携、課題ごとの適切なチーム支援など、環境の変化や事業の成長段階に応じた支援を継続的に行います。

総合相談窓口 (ワンストップサービス)	コーディネーター
	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士 ・社会保険労務士 ・税理士 ・ITコーディネータ 等



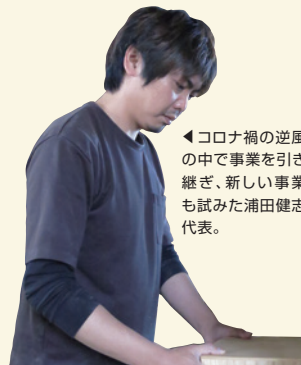
桐の小箱をインテリア用に展開 BtoCの夢叶い、世界も視野に

令和2年1月、事業を引き継いだ浦田健志代表は、従来のBtoBでの木箱販売に加えて、個人向けも模索。アウトドア用ガスコンロにつけるサイドパネル(ウォルナット製)と、キャンプ携行用のコーヒー豆の小箱(桐製)をつくり大手通販サイトで販売すると、注文が頻繁に舞い込むように。BtoCへの本格的な取り組みを決意したのであった。

デザイナーの協力を得て、「キリフト」ブランド(桐のクラフト製品)を立ち上げ、桐の米びつ「ライスストックー」を商品化。今日の住宅のキッチンに置いても違和感のない意匠に仕上げた。そして「小さな元気企業応援事業」の採択を受けてそのオンラインショップを開設。PRが進むと、大手通販サイトが「キリフト」を扱いたいと打診してきたほか、OEMでの桐箱生産依頼が舞い込んだ。浦田代表は「さらなる支援を受けて、デパートや海外でも販売してみたい」と意気軒昂だ。



▲「キリフト」ブランドとして商品展開した桐製の各種小箱。米びつのほかにコーヒー豆用も商品化。



◀コロナ禍の逆風の中で事業を引き継ぎ、新しい事業も試みた浦田健志代表。



▲「小さな元気企業応援事業」の採択を受けて制作された「キリフト」オンラインショップ。

下請かけこみ寺の各種相談

中小企業からの取引に関する様々な悩み、相談に親身になって対応します。また、紛争解決の迅速・簡便な手段としてADR手続きを行います。

中小企業の収益力改善、事業再生支援

中小企業活性化協議会では、金融機関・民間専門家等と連携し、県内中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジを一元的に支援します。

事業承継・引継ぎ支援

親族内承継や第三者承継などの事業承継に関するさまざまな課題を解決するため、事業承継計画の策定、マッチング、経営者の個人保証の解除などの支援をワンストップで行います。

中小企業等の外国出願助成

県内の中小企業等が外国へ特許等出願する場合、その出願経費の一部を助成します。

	助成率
特許出願	1/2以内(上限150万円)
商標登録出願	1/2以内(上限60万円)
冒認対策商標出願	1/2以内(上限30万円)

観光ビジネス支援

(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新幹線敦賀延伸等に関連した商品開発や様々なアイデアを生かした事業展開に対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	100万円

※ただし、工具器具・備品費・構築物費・店舗改装費の助成額は50万円以内。

小さな元気企業の応援

(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内小規模企業者(グループ含む)の商品開発や販路開拓等の取組みに対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	50万円 (県外の販路開拓経費については、25万円※)

※ただし、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出席する場合は35万円。

■ 地域資源を活用した事業支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)が富山県の指定する地域資源(産地の技術や農林水産、観光資源)を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴って行う販路開拓事業に対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	500万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

■ 農商工連携を活用した事業支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者またはNPO等と農林漁業者が連携し、双方の経営資源を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴う販路開拓事業に対し助成します。

助成率	2/3
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	200万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

販路開拓の助成は、県外分25万円以内(首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円以内)。県外及び国外分の両方で事業を実施する場合は50万円以内。

■ 防災・減災、感染症対策促進支援

事業継続計画を策定している、または、事業継続力強化計画の認定を受けている県内中小企業者の防災・減災、感染症対策を強化する取組みに対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	100万円

3. 販路の開拓支援

■ 受発注取引のあっせん・紹介

県内中小企業の受注機会を増やすため、県内外企業の発注情報の収集・提供をしています。

■ 商談会の実施

東京・大阪・名古屋地区で広域商談会を開催しています。

■ 販路開拓の挑戦支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の展示会や見本市への出展、海外の市場調査・広報に関する活動等の販路開拓事業に対し助成します。

	県外市場開拓	国外市場開拓
助成率	1/3	1/3
助成期間	最長2箇年度	最長2箇年度
助成限度額	25万円	50万円

※ただし、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。県外分及び国外分の両方で事業を実施する場合の上限額は50万円。

■ 大都市圏への販路開拓支援

大都市圏の企業へ自社製品を売り込みたい県内中小企業に対して、コーディネーター等を活用して販路開拓を支援します。

4. 情報化の支援

■ アフター・ウィズコロナにおけるネットビジネス支援

アフター・ウィズコロナに対応したネットビジネスへ参加するきっかけとなる講座を開催します。

- ・BtoB. オンライン商談会コース
- ・BtoC. ネットビジネス活用コース

■ 図書・DVD等による情報提供

経営関連の図書や雑誌・新聞等の資料、社員教育・製造業関連・繁盛店情報など企業に役立つDVD等を多数取り揃えております。

図書やDVD等は自由に閲覧・視聴でき、無料貸し出しサービスも行っていきます。

<https://www.tonio.or.jp/info/library/>





Toyama New Industry Organization

イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による
富山ならではの新産業の育成・創出

5. 産学官連携の推進

■ グリーン成長戦略分野の取組み

地球温暖化対策で成長が期待される産業分野として「次世代自動車」、「環境・エネルギー」を含む新たな「グリーン成長戦略」分野の取組みを推進するため、セミナー等の開催や先進地視察による情報提供、情報交換の場を提供します。また、産学官グループによるこの分野に係る研究開発を支援します。

	単独企業枠	複数企業枠
委託額	500万円/年以内	1,000万円/年以内
委託期間	最長3箇年度	

■ ロボット技術研究ネットワークの推進

次世代ロボット関連産業の創出、育成、ロボットの利活用を促進するため、情報提供、情報交換の場を提供し、セミナー開催等により、ネットワークを推進します。

■ 医薬工連携イノベーション創出の推進

医療現場等における多数のニーズをもとに、医薬品関連企業やものづくり企業と医療・介護関係者、医療機関等が連携し、イノベーション創出を推進します。

■ アルミ産業成長力強化戦略の推進

アルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの事業化やアルミのグリーン化に関する研究開発を支援するほか、インターンシップ、海外技術者との交流を通じた人材育成等を実施します。

■ ヘルスケア産業育成創出の推進

ヘルスケア産業研究会を設置し、セミナー開催、コーディネーターによるマッチング活動、ヘルスケア製品開発の支援等を行います。

■ IoT・AI活用等生産性向上支援

IoT等の初期導入に関する総合的な相談対応を実施します。企業での出前講座、指導者派遣による企業課題の解決に向けた提案も行っていきます。



デジタルハブ
(技術交流ビル1階)

6. 新産業・新技術の創出支援

産学官オープンイノベーションの推進

● 新商品・新事業創出枠

バイオ、深層水、環境・エネルギー、ものづくり、航空機、医薬工連携、次世代自動車、ロボット、ナノテクなどの成長分野を中心に、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新事業創出に結びつく研究開発を支援します。

委託額	200万円／年以内
委託期間	最長2箇年度



深層水 富山湾海洋深層水の電解質を活用した病者用食品としての経口補水液の開発(医薬品・化粧品、健康食品・飲料等の製造メーカー&富山大学)



ナノテク 環境配慮型疎水化CNFマスターバッチの開発(産業機械メーカー&富山県立大学)

● 新ものづくり戦略推進枠

産学官グループから研究開発テーマを公募し、先端技術の実用化に向けた製品開発やCNF・高性能素材の開発・加工に係るコア技術の展開・事業化を支援します。

委託額	500万円／年以内
委託期間	最長2箇年度

ものづくり研究開発支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助成率	1/2
限度額	200万円
助成期間	最長2箇年度

成長型中小企業等研究開発支援

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業等及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業に関し事業管理機関として支援します。

CASE

2

株式会社富山環境整備 松浦 昂司 取締役

▶ P.7 ● ものづくり研究開発支援事業

再生プラ・ゴムシール材の高強度化、高機能化模索 基礎研究から製品化・実用化を試みるまでに

廃棄物のリサイクルに積極的な富山環境整備。「戦略的基盤技術高度化支援事業(現:成長型中小企業等研究開発支援事業)」(平成30年度)の採択を受けて進めた「ナノマルチ複合化による高機能性高分子部材の商品化」では、再生プラスチックにカーボンナノファイバーを均一に混ぜることを模索。信州大学との共同研究で、ある溶媒を用いるとそれが可能なことを突き止めた。また掘削機用のゴムシール材の高機能化にもチャレンジ。同大学や素材メーカーの協力を得て、カーボンナノチューブを配合することで耐ガス性や耐薬品性を高めた。そして「ものづくり研究開発支援事業」(令和3年度)の助成を受けて再生プラスチックの製品化に取り組み、ゴムシール材はメーカー協力の下、実用化試験に入った。

「廃棄物を扱っている関係で、社員皆がリサイクルへの関心が高く、次々とテーマが上がってきます」と語るのは松浦昂司取締役。「技術開発の支援は積極的に活用させていただきます」と付言した。

● 熱可塑性樹脂へ加熱加工することができる固形状に変換



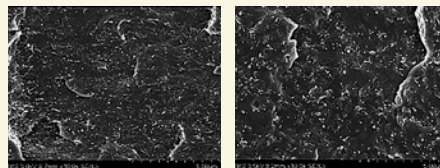
1%TOCN水分散液



CW Solid粉末粉

▲水に分散しているカーボンナノファイバーを、ある溶剤に置換するとCW Solid粉末という固形物になる。これによりプラスチックに均一に混ぜることができた。

▼マテリアルリサイクルを積極的に推進する同社の松浦昂司取締役。



▲ゴム複合材開発にあたってのサンプルの拡大写真。ロール混練による理想的なカーボンナノチューブの分散混合(左)を、今回の開発に合わせて導入した二軸混練押出装置でも同様の分散混合(右)を実現することに成功した。



7. 富山県ものづくり研究開発センター

● 富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。

10m法の電波暗室、最先端設備等設置スペースであるデジタルものづくりラボ、高性能素材ラボ、CNF製品実証試作ラボ、製品機能・環境負荷評価ラボ、オープンイノベーション・ハブと、研究開発スペースである開発支援棟で構成されています。



● 最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自らが操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

● 研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

● 実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

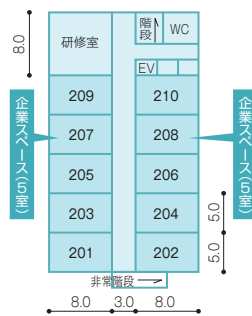
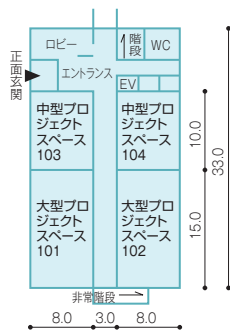
● 異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

● 開発支援棟の研究スペース

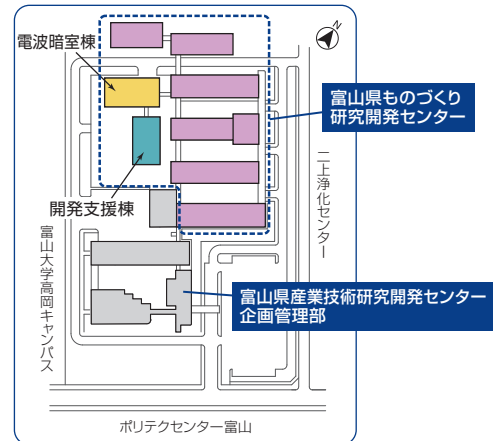
カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

[1階]		[2階]	
プロジェクトスペース		企業スペース	
使用料金	80㎡(2室) 月額 184,300円	使用料金	40㎡(10室) 月額 92,100円
	120㎡(2室) 月額 276,500円		



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。

● アクセス



高岡市二上町122
(富山県産業技術研究開発センター敷地内)
TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283

● 交通アクセス

- 車の場合**
 - 新高岡駅から約20分、高岡駅から約15分
 - 能越自動車道 高岡北インターから約10分
- バスの場合**
 - 新高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富大高岡)」、乗車約30分「富大高岡キャンバス」下車 徒歩3分
 - 高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富大高岡)」、乗車約15分「富大高岡キャンバス」下車 徒歩3分
- 路面電車の場合**
 - 高岡駅発 万葉線、乗車約20分「米島口」下車 徒歩約20分



環日本海・東アジア諸国図／通称「逆さ地図」
富山県が国土地理院の承認を得て作成した
地図です。(平24情使第238号)「逆さ地図」
に航路、航空路が重ねてあります。

..... 航空路
..... 航路
※2022年2月時点
※新型コロナウイルス感染症の影響により、台北・上海・大連の各便は運休中となっています。

Toyama New Industry Organization

アジア経済交流センター

アジアをはじめ世界に羽ばたく企業を支援

8. アジア経済交流の推進

■ アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

アジア地域における貿易・投資等の経済活動を促進するため、当該地域の情報を収集し、刊行物やウェブサイト等を通じて提供します。

<https://www.near21.jp/>

ホームページでも公開



■ 各種セミナー・中国研究会の開催

● セミナー

県内企業向けに、海外展開に役立つセミナーを開催しています。要請に応じ、セミナー講師の派遣も実施します。

● 中国研究会

中国への理解を深め、中国に関心のある県内企業の情報交換の場とすることを目的とした勉強会「中国研究会」を定期的開催しています。



9. 海外展開相談窓口の設置

■ アドバイザーの配置

海外経験が豊富なビジネスアドバイザーや貿易投資アドバイザーを配置し「富山県海外ビジネスサポートデスク」と連携を取りながら、アジア地域を中心とする海外販路開拓や海外進出に挑む県内企業の皆様のご相談に応じバックアップします。(事前予約制・無料)

海外ビジネス アドバイザー	貿易一般	福井 孝敏
	中 国	藤野 文悟
貿易投資 アドバイザー	東南アジア	鎌田 慶昭
	ロ シ ア	森岡 裕
	東南アジア	宮本 敏和
	中 国	福田 堅太郎

富山県海外ビジネスサポートデスク	
○富山県バンコクビジネスサポートデスク(北陸銀行バンコク駐在員事務所)	23rd Floor Unit 2314, Bhiraaj Tower at EmQuatier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-8495
○富山県台北ビジネスサポートデスク(ジェック経営コンサルタント台北事務所)	台北市信義區信義路五段5號4樓4B14室 TEL:+886-2-2725

10. 海外市場開拓の支援

国際見本市への出展支援

海外の見本市への出展支援事業を行い、県内中小企業の海外販路開拓をサポートします。

○2022年度予定

2022中日(大連)博覧会

開催地：中国大連市
期 間：2022年9月(予定)

海外バイヤー招へい商談会の開催

海外からバイヤーを招へいた商談会を開催し、県内中小企業の商品・技術を広くアピールします。



経済交流ミッションの派遣

主にアジア地域の投資環境や経済・物流の動向を探るためミッション団を派遣します。現地では政府機関や企業を訪問し、双方のビジネスチャンス拡大に向け、率直な意見交換を行います。



11. 富山県ものづくり総合見本市の開催

国内外のものづくり技術や製品を幅広く展示し、経済・ビジネス交流の拡大を図るため、富山県ものづくり総合見本市を開催しています。

○直近の実績

会 期	2021年10月28日(木)～11月30日(火)
会 場	オンラインにて開催
主 催	富山県ものづくり総合見本市実行委員会
参加国・地域	14カ国・地域 (中国、アメリカ、タイ、マレーシア、ベトナム等)
対象分野	工作・産業機械、自動車関連、精密機械、電子・電機、 鑄造・金型、金属加工品、プラスチック、アルミ、 IT、化学、医薬品、伝統工芸、食品加工、繊維、デザ イン産業 等

CASE

3

有限会社グリーンパワーなのはな 金泉 和久 取締役

▶ P.10 ● 海外バイヤー招へい商談会

● 国際見本市への出展支援

農業法人が独自に海外市場を開拓 欧米・中国・東南アジアにも輸出を

平成30年より、全農経由で富山のお米を中国に輸出するようになったグリーンパワーなのはな。翌年以降にはイギリス、フィンランドへと販路が広がり、さらにはフランス、ドイツにも。この過程で、貿易業務を覚えていった。

そして令和2年、3年に「海外バイヤー招へい商談会」に参加。そこで出会った香港のバイヤーとの商談が進んだ。また令和3年には「シンガポールにおけるテストマーケティングおよびオンライン商談会」に参加。同社の心白粥を試食した現地バイヤー数社から新しい味付けや取引条件等について要望を受け、取引に向けて交渉中である。

「コロナ禍では、大掛かりな展示会は開催されません。その点、参加者を絞った小規模な商談会やオンラインの商談会は感染対策がとりやすく、安心です。中でも新世紀産業機構の商談会は、バイヤーが厳選されていて成約が期待されます」

こう語る金泉和久取締役は、さらなる輸出拡大に向けてのプランを練っていた。



◀令和3年の「海外バイヤー招へい商談会」の様子。新型コロナウイルスの動向を鑑み、海外バイヤーの日本法人や代理店とオンラインで商談を実施。

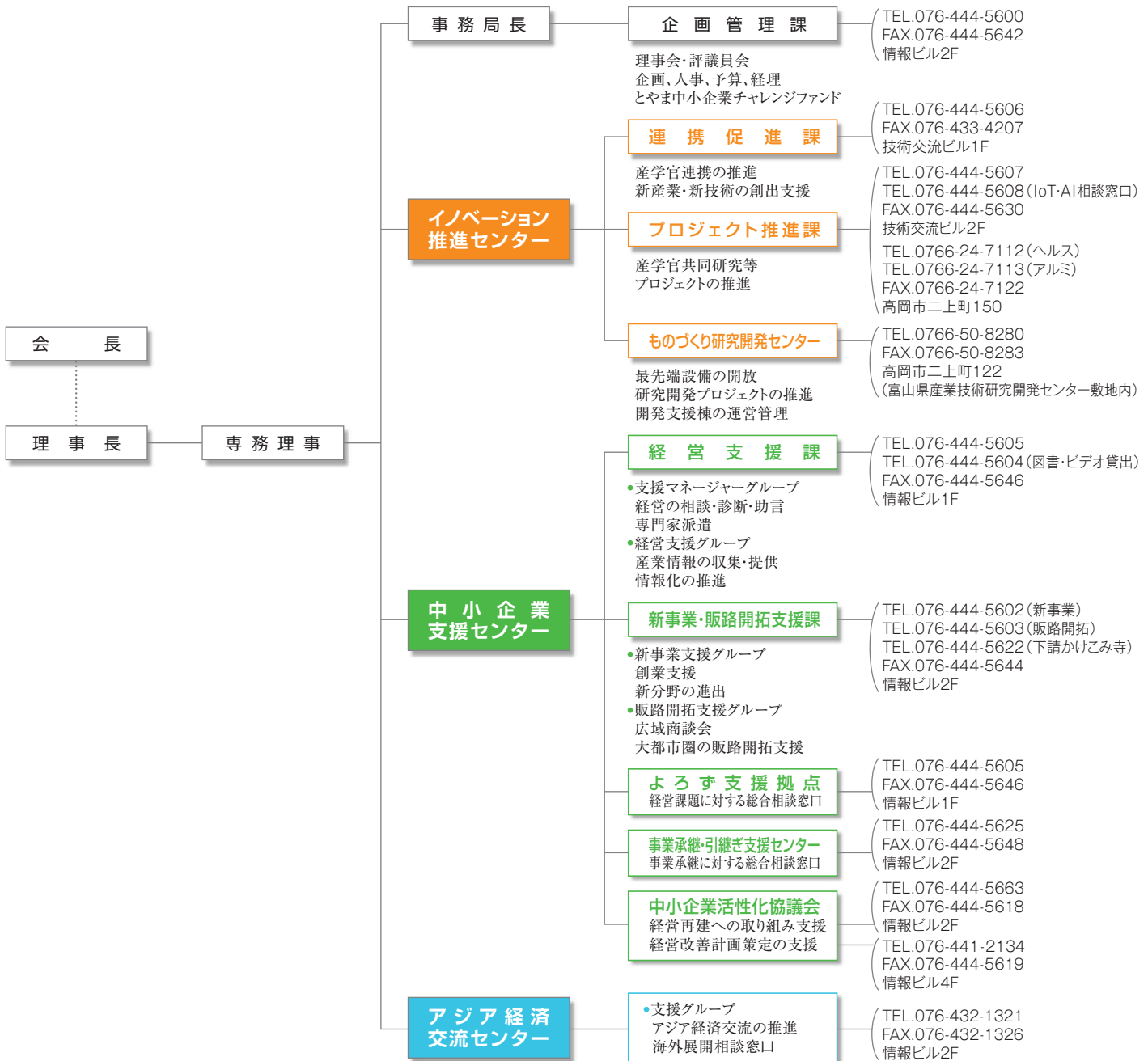
▼農協の子会社の同社で、海外市場を開拓してきた金泉和久取締役(左)と川村真理子主任。手前の商品は海外へ輸出している米やお粥関連の商品。



▲シンガポールでのテストマーケティングの様子。来場者が手にしているのは同社の「黒米茶」。

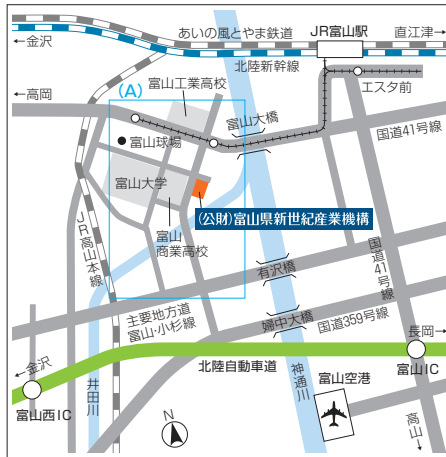


公益財団法人 富山県新世紀産業機構 組織図



交通案内

- JR富山駅から市電で10分、トヨタモビリティ富山Gスクエア五福前(五福末広町)駅下車、徒歩10分
- JR富山駅よりバスで小杉・高岡方面行乗車、五福末広町にて下車、徒歩10分
- 北陸自動車道富山インターより車で約20分
- 北陸自動車道富山西インターより車で約15分
- 富山空港より車で約15分



(A) 拡大図



公益財団法人 富山県新世紀産業機構

[情報ビル] 〒930-0866 富山市高田527番地
 [技術交流ビル] 〒930-0866 富山市高田529番地
 URL: <https://www.tonio.or.jp/>



Twitter



Facebook

2022年3月発行



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。